

令和5年12月13日
九州地方整備局
北九州国道事務所

国道3号黒崎バイパス春の町ランプと陣原ランプ 開通半年後の交通状況と整備効果について

～渋滞が大幅に緩和し、国道3号利用所要時間のばらつきが約7分短縮～

令和5年3月18日（土）に開通した、国道3号黒崎バイパス春の町ランプ・陣原ランプの開通半年後の交通状況等をお知らせします。

1. 交通量の変化と渋滞の緩和

○開通前・開通半年後の交通量

単位：台/12h

路線名	交差点・区間	開通前(①)	開通半年後(②)	変化(②-①)	[参考] 開通1ヶ月後
黒崎バイパス	春の町ランプ	—	21,200	△21,200	18,000
	黒崎北～皇后崎	34,000	44,500	△10,500(31%増)	42,000
	東田～前田	10,400	30,300	△19,900(191%増)	27,800
	陣原ランプ	19,000	26,600	△7,600(40%増)	25,500
国道3号	筒井町	24,900	18,900	▼6,000(24%減)	20,300
	西本町1丁目	34,500	22,500	▼12,000(35%減)	24,000
市道前田東浜町1号線	前田ランプ出入口付近	26,400	17,100	▼9,300(35%減)	18,100

※数値は十の位を四捨五入

○開通前・開通半年後の渋滞長

渋滞発生箇所	開通前(m)	開通半年後(m)	発生時間帯
筒井町交差点 小倉方面(上り)	580	0	朝ピーク(7～8時台)
黒崎バイパス 前田オフランプ	1,610	10	朝ピーク(7～8時台)

2. 国道3号の所要時間短縮と定時性向上

- 各種施設が集積する**東田地区から10分圏域が拡大**。
- 国道3号利用時の**所要時間のばらつきが平均約7分短縮**し、定時性が向上。

3. 並行する道路の旅行速度の向上

- バイパス沿線並行道路の旅行速度が、朝ピーク時で**約6km/h向上**。
- 朝夕の通勤・帰宅時間帯のバイパス沿線並行道路で**20km/h未満の低速走行区間が半減**。

4. 災害に強い道路ネットワークの確保

- 災害にも強い安定した代替路の確保



【問合せ先】

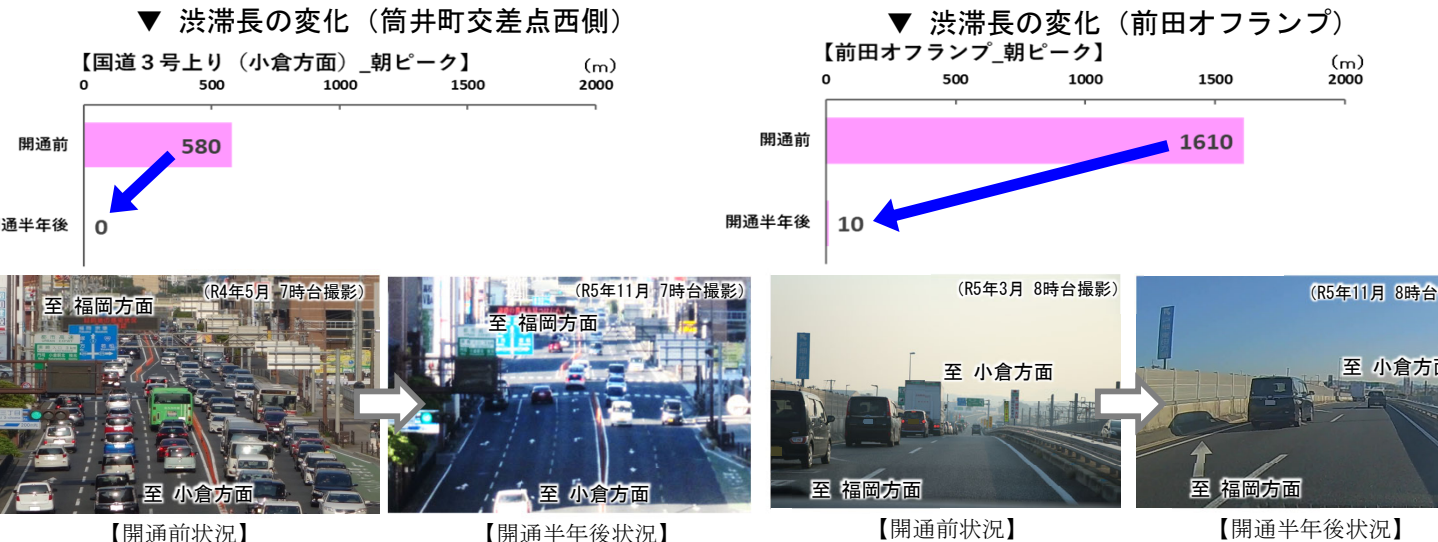
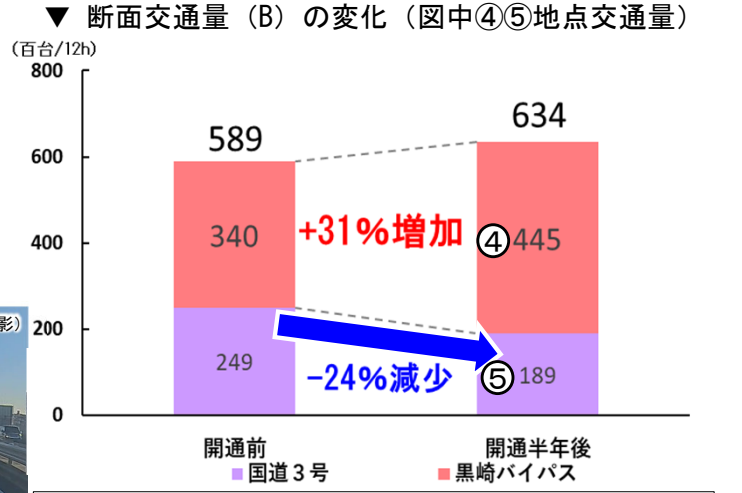
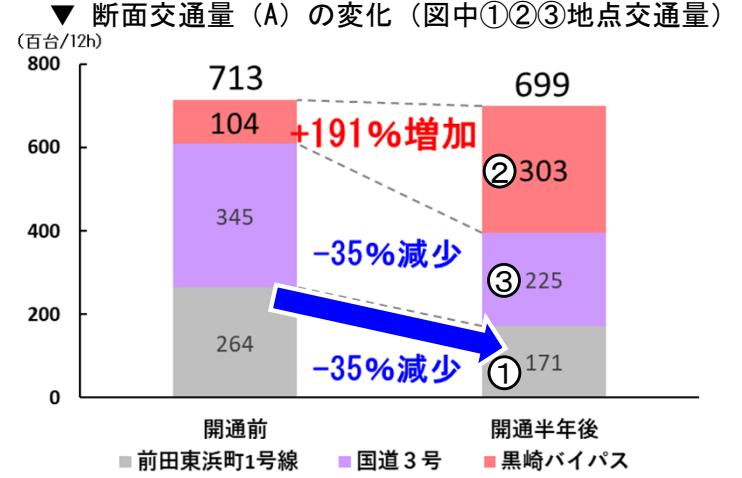
国土交通省 九州地方整備局 北九州国道事務所 093-951-4331（代表）

技術副所長 じろうまる けいた
次郎丸 敬太計画第二課長 まつざか ちひろ
松坂 千寛

1. 交通量の変化と渋滞の緩和

○開通から半年が経過し、黒崎バイパスの交通量は地点②で30,300(台/12h)、地点④では、44,500(台/12h)。
国道3号は地点③で22,500(台/12h)[35%減(開通前比。以下同じ)]、地点⑤で18,900(台/12h)[24%減]。国道3号に平行している市道は地点①で17,100(台/12h)[35%減]と、交通量は減少しており黒崎バイパスへ交通転換が図られています。

○黒崎バイパス開通直後と同様に、並行する国道3号から黒崎バイパスへ交通が転換したことで、主要渋滞箇所(筒井町交差点)の渋滞長が580m⇒0m、前田オフランプの渋滞長は1,610m⇒10mに大幅に緩和しています。



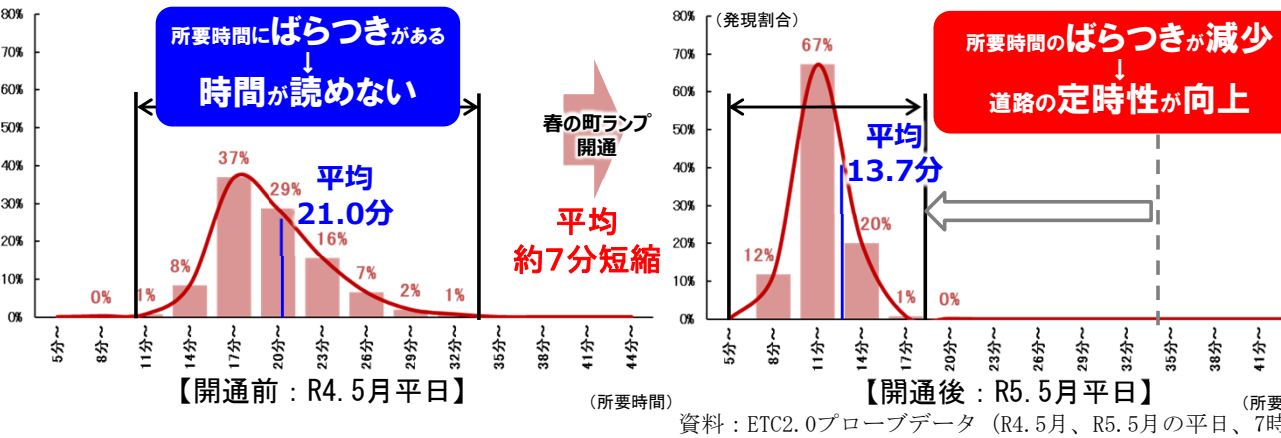
【開通前】
黒崎バイパス、国道3号、市道前田東浜町1号線：交通量調査結果(2022年11月24日(木)(7:00~19:00))
【開通半年後】
黒崎バイパス、国道3号、市道前田東浜町1号線：交通量調査結果(2023年9月13日(水)(7:00~19:00))

2. 国道3号の所要時間短縮と定時性向上

- 春の町ランプ近傍の東田地区周辺には、商業施設や博物館などの公共・公益施設が集積しています。
- 春の町ランプの開通に伴い、東田地区を起点とした10分圏域が拡大し、八幡西区(本城、陣原、穴生)から東田地区へ10分で到達可能となりました。
- さらに、国道3号の交通が黒崎バイパスに転換したことにより、八幡西区(陣原)から東田地区への所要時間のばらつきが平均約7分短縮し、国道3号の定時性が向上しました。



資料：東田地区からの10分圏域；令和3年度全国道路・街路交通情勢調査（昼間12時間平均 旅行速度）、春の町ランプ（開通後）前田ランプ～東田間の昼間12時間平均速度を適用



○春の町ランプの開通で（八幡西区）西側から車通勤している従業員は、朝の時間帯で所要時間が10分位早くなっています。また、当施設までの経路が選択できるようになり、お客様も便利になっています。（小売事業者）

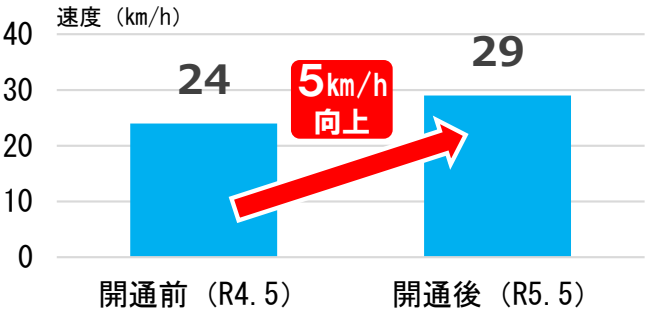
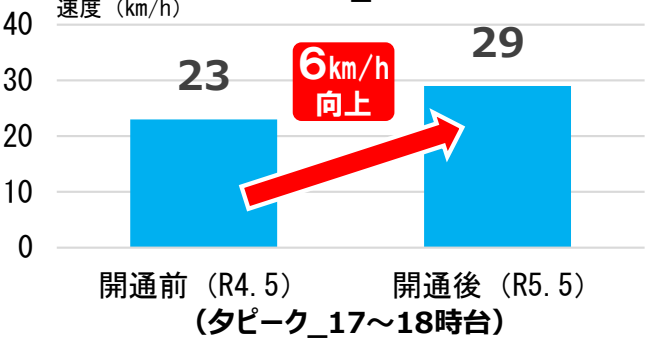
○八幡西区から通勤している職員は、（前田オフランプの）渋滞が減り時間が読めるようになって通勤しやすくなったようです。（物流事業者）

企業担当者

3. 並行する道路の旅行速度の向上

○黒崎バイパスへの交通転換により、黒崎バイパス沿線並行道路の旅行速度が朝ピークで**約6km/h**(23km/h⇒29km/h)、夕ピークで**約5km/h**(24km/h⇒29km/h)向上するとともに、20km/h未満の低速区間が**半減**し、走行性が改善されています。

▼バイパス沿線並行道路における旅行速度の変化
(朝ピーク_7時台)

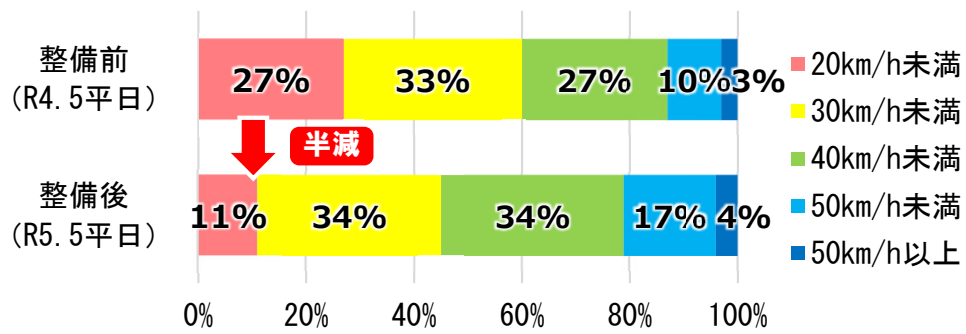


資料：ETC2.0プローブデータ
(R4. 5月、R5. 5月の平日、7時台・17～18時台)

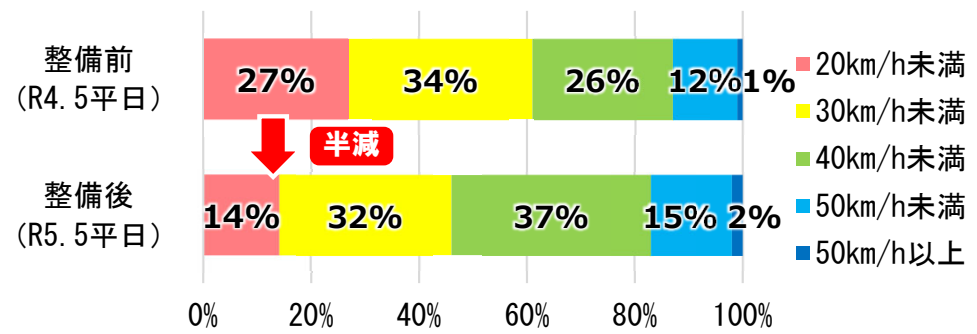


▼ バイパス沿線並行道路の全延長に占める旅行速度ランクの変化

(朝ピーク_7時台)



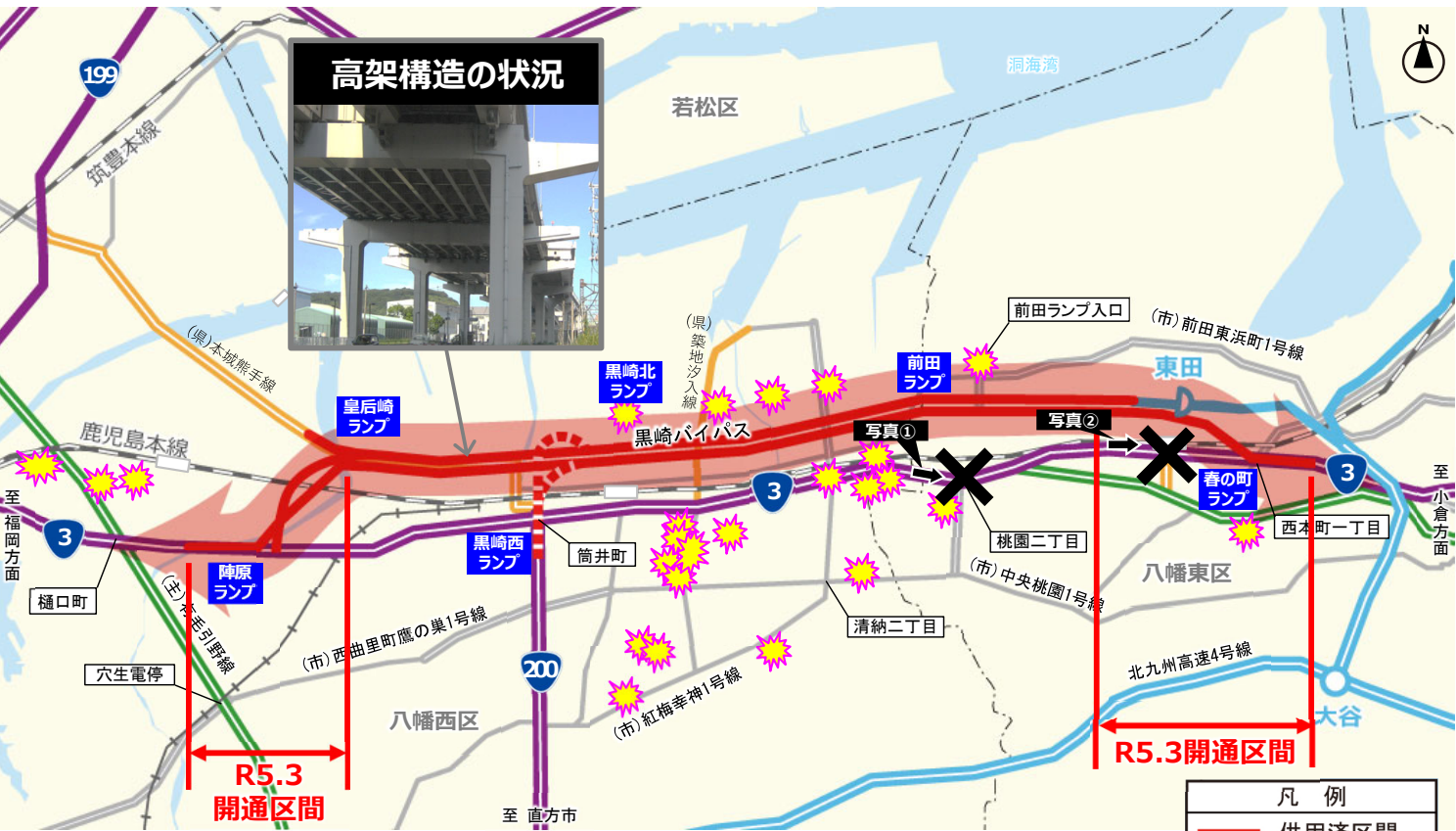
(夕ピーク_17～18時台)



資料) ETC2.0プローブデータ (R4. 5月、R5. 5月の平日、7時台・17～18時台)

4. 災害に強い道路ネットワークの確保

- 春の町・陣原ランプの開通により、国道3号東西方向のバイパス機能の強化を図りました。
- 黒崎バイパスは主に高架構造であり、国道3号が冠水した場合でも通行止めの影響を受けることなく、安定的な人流・物流を支える道路ネットワークを形成しています。



▲ 道路冠水箇所及び浸水被害発生箇所

- ✳️ : 浸水被害発生箇所 (平成19年度以降)
* 北九州市ハザードマップ (令和3年2月) より
- ✖️ : 道路冠水箇所

↔️ : 国道3号冠水時の迂回経路

凡 例	
—	供用済区間
- - -	事業中区間
—	都市高速道路
—	国道
—	主要地方道
—	一般県道
—	市町村道
—	2車線
=	4車線以上



▲ 道路冠水状況
〔国道3号桃園2丁目交差点付近〕
(平成27年8月)



▲ 道路冠水状況
〔国道3号八幡トンネル付近〕
(平成30年7月)